夏山リーダー資格検定アセスメント

2018年12月26日

０．検定準備

　　検定方法を伝える

　　検定は主催者が１泊２日の登山を想定して、登山口、宿泊場所、目的の山、下山口および途中のチェックポイントを決めて、地形図を配布し、２～４人程度のパーティー編成を決めて発表する。

　　パーティーごとに集合して、下記の実技を行っていただき、評価する。

　　知識については、最後の学科試験で評価する。

　（１）受講条件

受講年度の4月1日現在で満18歳以上で、4日間の講習会の修了者で修了後10回以上の登山経験を積み認められたもの、または、主催者より前項以上の経験があると認められた者

　（２）検定会の実施方法

　　　　　日本山岳・スポーツクライミング協会指導委員会が作成した指導要領及び検定基準に基づき、主任検定員１名を含む複数の検定員で実施する。

　（３）判定方法

　　　　　合格の判定は、申請された実技検定および学科検定の総合判定結果（検定得点表）及び山歴書に基づき、日本山岳・スポーツクライミング協会指導委員会が別に定める審査基準により決定する。

　（４）更新登録

　　　　　資格有効期限４年間のうちに、最低１回（３時間以上）は、日本山岳・スポーツクライミング

協会が別に定め義務研修る研修会又は講習会（各都道府県山岳連盟（協会）よりの申請を含む）に参加してポイントを取得しなければ更新登録はできない。

　（５）検定評価方法

　　　　　検定評価は各検定項目について、実技と知識（学科）について行う。

　　　　　実技は要点を強調し、正しい用語で説明して、実際に行動し演技を示さねばならない。以上を

５段階に評価する。

　　　　５＝実技として非常に優れている

　　　　４＝実技として適格である

　　　　３＝実技として不足している

　　　　２＝実技として達していない

　　　　１＝実技としてリーダーとして適正がない

　　　　　詳細な点数を含み検定基準は、別途定める。

１．Plan (the risk and planning of mountaineering)　 計画（登山のリスクと計画）

　（１）検定項目　登山計画

　（２）検定内容　パーティーで話し合いリーダーを決めて、発表があった登山を行うための登山計画を作成する。

　（３）評価　①リーダーを決めたか

　　　　　　　②共同装備・個人装備を決めて装備計画を作れるか

　　　　　　　③エスケープルートを計画できるか

２．Equipment (preparation before)　 装備（登山準備）

（１）検定項目　登山装備および食料

　（２）検定内容　服装と装備についての基本を習得および山での食事についての知識を習得

　（３）評価　①万が一を想定した服装・用具を準備できる

　　　　　　　②不要な物を排除できる

　　　　　　　③必要不可欠な食糧計画を立てることができる

　　　　　　　④非常食を想定できる

３．Behavior of mountaineering　歩き方（登山行動技術）

（１）検定項目　歩き始める前の準備および歩き方の基本を各場面で具体的に開設する

　（２）検定内容　出発の段階で安全登山に配慮し、またパーティーをきちんと掌握しコントロール出来るようにする習慣を身に着けるようにすること。

　　　　　　　　　歩き方の基本、ペース配分の重要性と安全な行動の方法を理解する。

　（３）評価　①点呼をとり、体調チェックをすることができたか

　　　　　　　②全体の行動計画を伝えることができる

　　　　　　　③準備運動の必要性を知っていて行っているか

　　　　　　　④効率的で安全な歩き方を知っている

　　　　　　　⑤急な斜面の歩き方でき、パーティーに指導している

　　　　　　　⑥雪渓の歩き方でき、パーティーに指導している

４．Navigation　ナビゲーション

（１）検定項目　読図およびナビゲーション

　（２）検定内容　スタート地点より最終地点までチェックポイント（Ｃ１，２，３等）を決めて、通過したか、最終目的地点まで行けたかを評価する。また、地形図の使い方を評価する。

　（３）評価　①地図の整置ができるか

　　　　　　　②尾根・谷・鞍部・ピークなど典型的な地形を、特定できる

　　　　　　　③磁北線を引くことができるおよび意味を理解している

　　　　　　　④コンパスの使い方がわかる

　　　　　　　⑤記録をとって行程の進捗を管理することができる

　　　　　　　⑥登山口をスタートした

　　　　　　　⑦Ｃ１を通過

　　　　　　　⑧Ｃ２を通過

　　　　　　　⑨宿泊場所に到着した

　　　　　　　⑩Ｃ３を通過

　　　　　　　⑪目的の山に到達した

　　　　　　　⑫Ｃ４を通過

　　　　　　　⑬下山口に到着した

５．Meteorology (corresponding to the weather)　 気象（天候と対応）　学科試験で検定する

（１）検定項目　山の気象の知識と天気情報の活用を習得

　（２）検定内容　山の気象の特徴と天気図から予測される注意点を理解する。

　（３）評価　①出発前に当日の天候を把握する姿勢を持っている

②出発前に計画中止の判断ができる

③観天望気による天候の急変を予測することができる

④天気図を読んで天候の予測をすることができる

⑤四季の典型的な気象について知識を持っている

⑥典型的な悪天候の予想図を知っている

　　　　　　　以上の内容が含まれる学科試験とする。

６．Camping & Lodging　宿泊

（１）検定項目　テント設営。生活技術

　（２）検定内容　パーティーでテントを設営し、評価する。テント生活をすることができているか。共同生活ができているか

　（３）評価　①テントを張る適切な場所を選定できているか

　　　　　　　②テントを張ることができているか

　　　　　　　③テント内が整理整頓できているか

　　　　　　　④共同で食事を作ることができているか

　　　　　　　⑤適切な宿泊装備があるか

７．Self-rescue　セルフレスキュー

（１）検定項目　道迷い、ケガ、傷病等で危急時の対応ができるか

　（２）検定内容　事故発生時の初動活動、外傷手当、救助活動、ビバーク

　（３）評価　①事故発生時の対処法を質問して的確に答えられるか

　　　　　　　②外傷の応急対応を適切に行うことができる

　　　　　　　③熱中症、低体温症、高山病などの対処法を知っているか質問して答えられるか

　　　　　　　④山で行動できなくなった仲間への対応や公的救助可能な安全な場所までの搬送ができるか

　　　　　　　⑤ツエルトを張ってビバークができるか

８．Mountain walks physiology and training　登山の運動生理学とトレーニング　学科試験で検定する

（１）検定項目　登山と体力の知識を習得および登山行動のためのトレーニング方法を習得

　（２）検定内容　山でバテないための生理学的な知識を持つおよび日常的に出来るトレーニング方法について学ぶ。

　（３）評価　①疲れない歩き方（ペース・呼吸法）を知っている

　　　　　　　②必要な栄養素・水の摂り方と量を知っている

　　　　　　　③疲れない身体の作り方を知っている

　　　　　　　④登山に必要な体力・筋力について知っている

　　　　　　　以上の内容が含まれる学科試験とする。

９．Mountain culture, mountain access issue, and mountain protection

山の文化と規制（登山の文化と環境/日本の山/アクセス問題）学科試験で検定する

（１）検定項目　山の文化と自然保護および入山の規制

　（２）検定内容　山の文化への理解並びに山を取り巻く環境、自然、動植物などの理解と環境保全の重要性を認識すること。

入山の規制に従って行動する習慣を理解し実行できること。

　（３）評価　①高山植物の希少価値を認識している

②トイレ問題・ごみ問題について認識している

③入山する地域の関連条例等について理解している

④登山道以外を歩いてはいけない理由を知っている

　　　　　　　以上の内容が含まれる学科試験とする。

以上